

Camping ぎふ

令和元年 7月 20日 発行
発行 岐阜県キャンプ協会
編集 板津 均
事務局 〒500-8222
岐阜市琴塚 1-8-6 坪田方



HPQRコード

新会長就任のあいさつ

岐阜県キャンプ協会会長 野崎 英雄

令和という新しい時代を迎え、このたび、鹿嶋前会長から会長職を引き継がせていただくことになりました野崎英雄と申します。

会長という重責をいただくことは私にとってもとても大きなことであると思っています。ましてや、キャンプ協会が設立されて20年という長きにわたる、先輩方のご努力と実績の前にわたくしができることは小さなことかもしれません。そして、日本キャンプ協会のみならず、全国のキャンプ協会も社会情勢の変化と楽しみ方の多様化、会員の減少、財務のひっ迫状況の中でどのように会員の皆様や県民の皆様にキャンプの楽しさや魅力を広げてゆけるのかが大きな課題となっています。



私は、キャンプをやりたい、キャンプが好きだという気持ちでつながっているキャンプ協会の会員の皆様と共にこのキャンプ協会を盛り上げて、これらの課題を乗り越えていきたいと思っています。「ゆるキャン」「グランピング」という言葉を耳にされたことがあるかと思います。また、野外教育や自然環境との共生や防災体験・防災教育という観点からもCampの魅力が見直されてきていると思うのです。

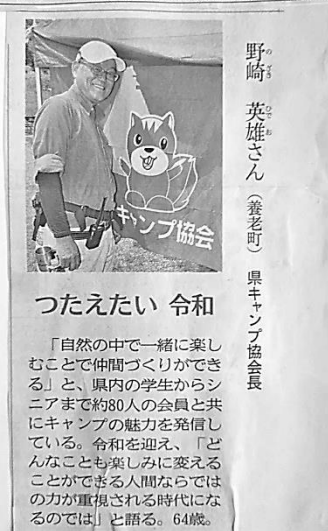
キャンプをやってみたい、やりたいけどどうしたらいいのかわからないという方も多く、私たちキャンプ協会ではそのような方にキャンプの魅力を体感していただける場を企画していきたいと考えています。また、他の団体とも連携したり、会員の皆様の知識と知恵をお借りしたりしながら、キャンプのすばらしさを共に広げていけたらと願っています。

さらに、Facebookやホームページ、ツイッターなどSNSを有効に活用していき、会員同士の情報交流や意見交流・情報発信の場として活用していきたいと考えています。

どうか、よろしくお願いいたします。

(岐阜新聞で紹介されました。)

2019年(令和元年)5月23日 木曜日



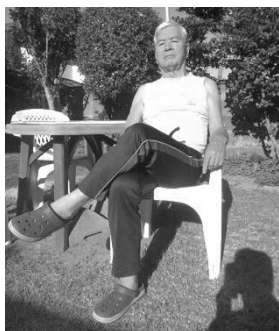
野崎 英雄さん(養老町) 県キャンプ協会

つたえたい 令和

「自然の中で一緒に楽しむことで仲間づくりができる」と、県内の学生からシニアまで約80人の会員と共にキャンプの魅力を発信している。令和を迎え、「どんなことも楽しみに変えることができる人間ならではの力が重視される時代になるのでは」と語る。64歳。

会長バトンタッチに想う

前岐阜県キャンプ協会会長 鹿嶋 昌幸



小学生のころ、ボーイスカウトでキャンプの楽しさを体験して以来、山岳部を経て社会人になり、結婚をし、子どもができ、家族で楽しむキャンプをしている間にいつの間にか仲間が増え、キャンプのグループをつくるに至りました。

これが、岐阜県キャンプ協会の前身である岐阜県野外活動研究会です。それから、数年後に岐阜県キャンプ協会を設立するに至りました。初代会長 上田湧一氏が15年間会長を務められました後、私が会長職を受けて7年間務めさせていただきました。

この長いテント生活で諸々な人たちと出逢い、この出逢いで友人の輪が広がりました。楽しくて、頼もしくて、いとおいしい友人たちです。これからも、その先も、この様にキャンプは様々な活動をする過程で人間関係を育てていきます。

令和になり新しい会長の下、ますますキャンプ活動の発展と友の広がりを皆様とご一緒に進めてまいりましょう。

わたくしは、一会員となり仲間に入れさせていただきます。

令和元年度岐阜県キャンプ協会通常総会開催

令和元年度岐阜県キャンプ協会通常総会が5月12日に揖斐高原貝月リゾートキャンプ場で開催されました。来賓として、上田湧一顧問からお祝いのご挨拶をいただきました。そして、2018年度事業報告と収支決算書が承認されました、岐阜県キャンプ協会設立20周年記念事業の報告と収支決算が承認されました。次に、役員改選の議案が提出されて、鹿嶋昌幸会長から野崎英雄新会長が承認されました。また、新理事長に松岡 徹 前事務局長、新事務局長に坪田守泰 前理事が承認されました。そして、新しく大橋高明さんを理事に迎えて新体制がスタートしました。

そのあと、野崎新会長が議長交代をして令和元年度の事業計画と予算案の議案が提出され、承認されました。



自然観察会と山菜採り

2019年5月12日(日)に揖斐高原貝月リゾートキャンプ場で自然観察会と山菜採りを開催しました。今年の開催事業から紙媒体での募集方法から、キャンプ協会のFacebookや無料地域広報誌の募集欄を活用しました。多くの方から広報誌を見たから、Facebookを見て興味をもったという声がありました。40人という参加者が集まり、自然観察会と山菜採りを実施することができました。

当日は、お天気にも恵まれ、山の達人である瀧日勝剛を迎え、山菜のある場所を求めて、小さな子どもさんも元気いっぱい山道を歩きました。また、参加されたご家族同士で話をする中で仲良くなり、子どもたちも一緒に遊んでいました。このように、開催事業を通して多くの人とのつながりや交流が深まるのが大切なのです。

岐阜新聞より

2019.5.15 県内外の親子ら
山菜採りを体験
2日 岐阜新聞 揖斐川町
ガイドの案内による山菜
採りの体験イベントが、揖
斐郡揖斐川町貝月の揖斐高
原貝月リゾートキャンプ場
で開かれ、県内外の親子ら
35人が楽しんだ。
県キャンプ協全権、岐
阜新聞社、岐阜放送など後
援。同協会は、ファミリー
キャンプを企画したり、イ
ンストラクター養成講習会
を開いたりしてキャンプの
魅力を発信している。



参加者はモキやワラビなどを採った。家族4人で参加した主婦福理恵さん(左)は岐阜市福光町。「安全に食べたい話した。家族で楽しみたいと話した。同協会は同キャンプ場に張ったテント内で本年度総会を開き、役員を改選。新会長に野崎英雄さん(64)を推挙し、任期は2年(井上愛)



参加者受付



野崎会長あいさつ



ワラビがいっぱいあるよ



山の達人から山菜について聞く



ダッチオープンで作った鶏飯とスープ、達人からの笹寿司をいただきました

参加者の声

うど、わらび、姫竹、タラの芽、山ぶき、みずぶき。
キャンプ場から山に少し入っただけで沢山の恵みをいただきました。

始めはなかなか見つけられませんでした。が、探しているうちにだんだん目に入るようになりました。

コシアブラやゼンマイはもう大きく葉が開いて時期を逸していましたが、来年の春には見つけられそう。講師の方に実物を見ながら、特徴を教えてくださいましたのできっと覚えていられるでしょう。…覚えているといいな。

お昼にはキャンプ協会特製の美味しいスープと炊き込みご飯をご馳走になり、元気に昼からも山菜取りが出来ました。美しい新緑の中、心もお腹も充実した一日でした。

帰ってからはさっそくあくぬき。講師の先生や山菜愛に溢れる他の参加者の方に教えていただいた調理法を試すのが楽しみです。

お世話になったみなさま、本当にありがとうございました。
阪之下正美さま

鹿嶋昌幸会長を囲む会



5月11日(土)に揖斐高原貝月リゾートキャンプ場で野崎理事長と松岡事務局長の声かけで夕方より開催しました。

上田湧一前会長も遠くより駆けつけていただき、多くの仲間もお土産とつまみをぶら下げて鹿嶋会長の退任をお祝いしました。

六角テントの中でランタンをともしておこないました。やはり、鹿嶋会長は、テントの中でワイワイと仲間と語り合うのが一番お似合いだと感じました。

これからも、私たちキャンプの仲間のあこがれとして見守り、助言をお願いします。

